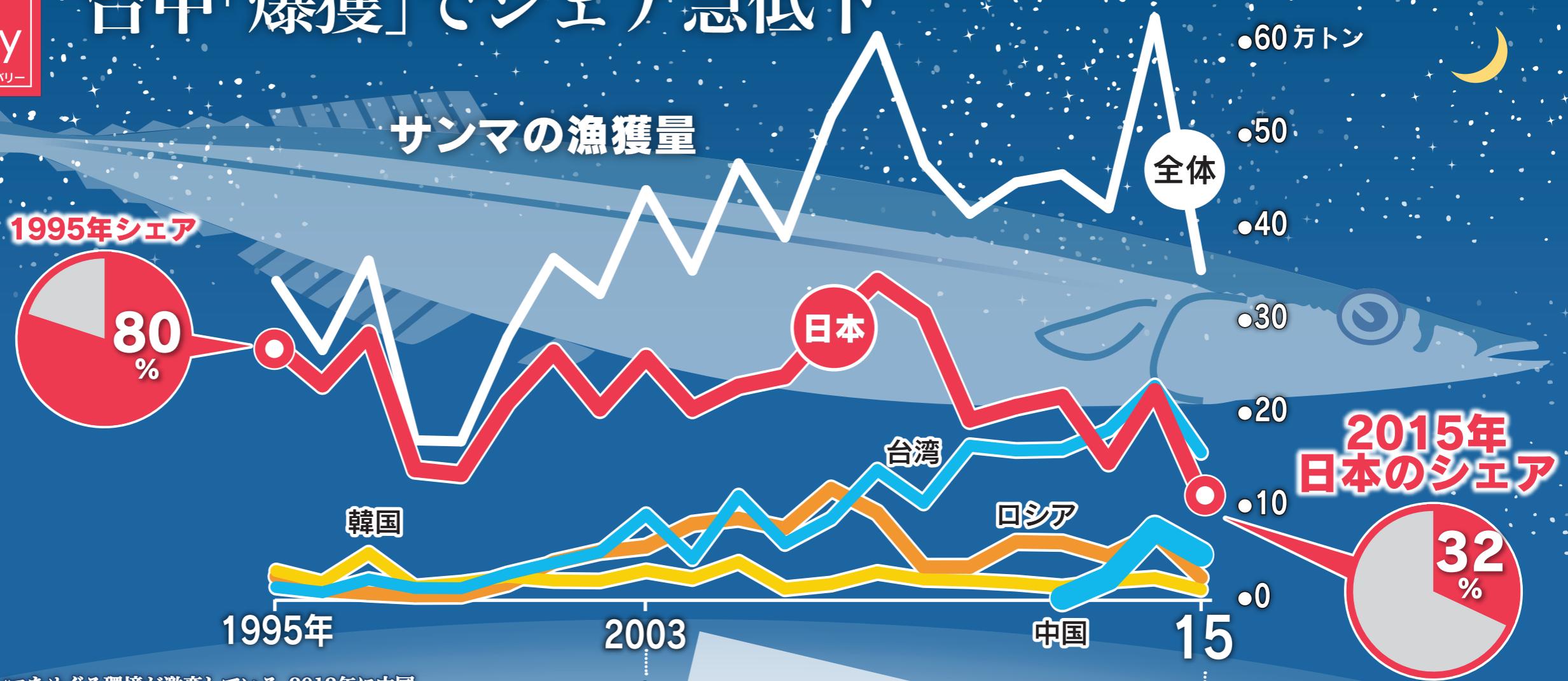


# 日本のサンマ 世界の3割に

台中「爆獲」でシェア急低下



秋の風物詩、サンマをめぐる環境が激変している。2012年に中国がサンマ漁に参入し、13年には台湾の漁獲量が日本を抜いた。日本の漁獲量はかつて世界の8割を占めたが、サンマを運ぶ親潮が南下しづらくなったりもあり、15年には3割まで減った。近年深刻なのが海にいるサンマの量(資源量)の減少だ。理由は諸説あるが、台湾や中国が公海上で大量に漁獲した影響も指摘される。今年は台湾の漁も振るわないとみられ、資源管理が課題となりそうだ。

